

2022年02月01日

【格付維持】

東京工業大学

発行体格付：A A + [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

現存する国立の理工系大学として最古の歴史を持ち、1881（明治14）年に設立された東京職工学校を起源としている。産業界、学术界などの幅広い領域に多様な人材を輩出し、研究面でも顕著な実績を残してきた。文部科学省所管の国立大学法人で、国が全額を出資する。格付には教育政策上の極めて高い重要性に加え、東京工業大学自体の事業基盤の強さを反映している。

大学を主とする高等教育機関は、高度な教育や研究を通じ社会に多大な貢献を果たしてきた。特に国立大学は高等教育の中核的な実行機関で、教育政策上の重要性が極めて高い。直接的なサポートとなる運営費交付金の大きな伸びは期待しにくい一方、政府は各種の規制緩和など様々な施策を用いて、国立大学法人の戦略的経営の実現を後押ししている。研究基盤の強化を狙い10兆円規模の大学ファンド創設も決めた。政府との緊密な関係が揺らぐとは考えにくく、政府系機関の一角として極めて高い信用力を備える。

東京工業大学は理工系大学の中では日本首位の位置付けで広く知られる。2030年度をめどに世界トップ10の理工系総合大学になる目標を掲げ、各種施策に取り組んでいる。長期にわたり産業界、学术界を中心に多様な人材を育成してきた。多くの卒業生が大手企業の経営トップを務めたほか、ノーベル賞受賞者や総理大臣経験者も輩出しており、社会的評価は高い。

実学重視の傾向が強く、産業界との結びつきは強い。民間企業との共同研究でも成果を上げ、十分な対価を得てきた。公的機関からの受託研究の件数・金額は増加基調で、これら収益と寄付金などの合計額が経常収益全体に占める割合（外部資金比率）は2019年度に国立大学トップとなった。大学発ベンチャーの企業数も国内大学で10位内の実績を残す。卓越したマネジメント力を備え、その強化を進めている。

2020年度からキャンパス再整備が始まった。港区・田町キャンパスに立地する附属高校を目黒区・大岡山キャンパスへ移転し、大岡山の既存の大学施設を敷地内で移す計画だ。移転完了後、田町キャンパスの跡地は75年の定期借地として、大手企業4社から成る共同事業者に賃貸する。東工大と事業者は大学施設を含む複合施設の建設・運営を前提に2021年に事業協定書を締結した。2026年春より年間45億円の不動産収入を得る予定だ。現在の経常収益の1割に相当する安定収益を原資に、教育・研究環境の整備や人財投資などに充当し、長期成長や経営基盤の強化に役立てる方針だ。進捗を見守っていく。

【格付対象】

発行者：東京工業大学

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA+（維持）	安定的

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2022年02月01日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2019. 11. 12] 事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021. 06. 01] 学校法人 [2021. 05. 31]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	東京工業大学
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当)

TEL. 03-6273-7471
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。